

〈資料提供〉

令和5年9月14日

県民文化スポーツ部文化振興課

担当：梅本、本間

TEL：076-225-1371（内線 3841）

いしかわ百万石文化祭 2023 まで1カ月 兼六園周辺文化の森一帯で皇室ゆかりの音楽、食、建築に触れる企画を初開催

石川県立美術館と国立工芸館で10月14日～11月26日に開催する、いしかわ百万石文化祭2023のメイン行事「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 ―麗しき美の煌めき―」に合わせ、兼六園周辺文化の森の文化施設において、皇室ゆかりの文化にちなんだ演奏会や朗読会、講演会などを初めて開催します。

1. 「雅楽」にちなんだイベント

①記念演奏会「雅楽 ―麗しの響き―」（別紙チラシをご参照ください）

国登録有形文化財の石川県立能楽堂能舞台において、初めて雅楽の演奏会を実施します。本展覧会で国立工芸館に通期展示される《萬歳楽置物》（初代徳田八十吉ほか）にちなみ、舞楽「萬歳楽」などを上演します。楽器や装束、演目の解説を交え、皇室ゆかりの音楽に理解を深めていただきます。

日 時：11月11日（土）14時～16時（13時開場）

場 所：石川県立能楽堂

出 演：一般社団法人 大阪楽所

料 金：一般1,500円、高校生以下無料 ※9月15日（金）チケット発売



舞楽「萬歳楽」（一般社団法人大阪楽所提供）

②『源氏物語』の朗読会と雅楽演奏

雅楽と皇室の歴史は古く、平安時代には宮廷芸能として浸透しました。不朽の名作『源氏物語』にも雅楽の演奏シーンが数多く登場します。石川近代文学館（石川四高記念文化交流館内）では、作家・瀬戸内寂聴が現代語訳した『源氏物語』の朗読と雅楽演奏を織り交ぜ、雅な世界観を味わっていただきます。

日 時：11月5日（日）14時～15時（13時半開場）

場 所：石川四高記念文化交流館 多目的利用室

出 演：朗読 所村佳子氏／雅楽演奏（龍笛） 本嶋実千浩氏ほか

定 員：30人

料 金：無料、開催日の1カ月前から電話申込が必要（TEL 076-262-5464）

2. 皇室の食文化にまつわるイベント

①皇室の食フォーラム

TBSドラマ「天皇の料理番」の料理を監修した料理研究家・脇雅世さんが、大正天皇の「御即位の御大礼の晩餐会」再現の逸話を紹介します。

日 時：11月3日（金・祝）14時～15時

場 所：石川県立美術館ホール

料 金：無料、申込不要（先着順）

②朗読会『天皇の料理番』

杉森久英（七尾市出身）の人気伝記小説「天皇の料理番」を朗読します。

日 時：10月28日（土）14時～15時（13時半開場）

場 所：石川四高記念文化交流館 多目的利用室

出 演：朗読 茶谷幸也氏

定 員：30人

料 金：無料、開催日の1カ月前から電話申込が必要（TEL 076-262-5464）

3. 皇室ゆかりの建築に関するイベント

①講演会「迎賓館赤坂離宮の今昔と見どころ紹介」

国宝「迎賓館赤坂離宮」は皇太子殿下（後の大正天皇）のご成婚を控え、明治42年（1909年）、東宮御所（皇太子殿下のお住まい）として建設されました。明治の洋風建築技術の総決算と称される建築の魅力に迫ります。

講 師：内閣府迎賓館次長 岡本信一氏

日 時：11月4日（土）14時～15時半

場 所：国立工芸館多目的室

料 金：無料

4. 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 ―麗しき美の煌めき―」の関連イベントについて

①講演会「皇室と加賀藩前田家の縁（えにし）―皇居三の丸尚蔵館の収蔵品から―」（仮）

講 師：前宮内庁三の丸尚蔵館首席研究官 太田彩氏

日 時：10月22日（日）13時半～15時

会 場：県立美術館ホール

料 金：無料

②講演会「三の丸尚蔵館の過去・現在・未来」（仮）

講 師：皇居三の丸尚蔵館学芸部 朝賀浩氏

日 時：11月23日（木・祝）13時半～15時

会 場：県立美術館ホール

料 金：無料

③ワークショップ「みんなでつくろう！扇面散屏風」（仮）

講 師：皇居三の丸尚蔵館学芸部 井上真里奈氏、木谷知香氏

日 時：11月18日（土）14時～15時半、11月19日（日）10時半～12時

会 場：県立美術館講義室

定 員：各回10組程度

料 金：無料

内 容：県立美術館で通期展示される《扇面散屏風》（俵屋宗達筆、皇居三の丸尚蔵館収蔵）を参考に、扇をデザインして屏風に貼り付け、ひとつの大きな扇面散屏風を作ります。

5. 周辺施設における皇室ゆかりの展覧会について

①石川近代文学館（石川四高記念文化交流館内）企画展「大和し思ほゆ―文学に探す雅のすがた」

会 期：10月14日（土）～12月17日（日）

内 容：『萬葉集』など古典の中に登場する石川関連の記述や、石川県ゆかりの作家が宮廷や皇族たちの姿をモデルに描いた作品を展示します。

②石川県立図書館ミニ展示「行幸・行啓～石川県へのご来県の記録～」

会 期：9月26日（火）～2024年1月21日（日）

内 容：石川県への皇室ご来県に関わる資料を一堂に集め、明治から令和までの天皇皇后両陛下と皇太子同妃両殿下のご来県のご様子を振り返ります。

③いしかわ生活工芸ミュージアム企画展「伝統と今をつなぐ 皇室と石川の工芸作家たち」

会 期：9月1日（金）～10月23日（月）

内 容：石川の工芸作家たちが、様々な場面で皇室と関わりながら、格調高い作品を皇室に納めてきたことは、個々の作家の力量が高いことの表れです。そうした作家の作品とともに、石川の工芸の風格を感じさせる美と伝統の技を紹介します。

6. 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 ―麗しき美の煌めき―」の概要

展 覧 会 名 称	第 38 回国民文化祭 第 23 回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭 2023 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 ―麗しき美の煌めき―」
会 期	令和 5 年 10 月 14 日(土)～11 月 26 日(日) 前期展示：10 月 14 日(土)～11 月 5 日(日) 後期展示：11 月 7 日(火)～11 月 26 日(日) ※11 月 6 日(月)は展示替休館
開 館 時 間	9：30～18：00(入館は 17:30 まで) ※但し、10 月 28 日(土)、11 月 3 日(金・祝)、4 日(土)、11 日(土)、18 日(土)、23 日(木・祝)、24 日(金)、25 日(土)は 20:00 まで延長(入館は 19:30 まで)
会 場	石川県立美術館(〒920-0963 石川県金沢市出羽町 2-1) 国立工芸館(〒920-0963 石川県金沢市出羽町 3-2)
お 問 い 合 わ せ	石川県立美術館 076-231-7580 https://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/ 国立工芸館 050-5541-8600 (ハローダイヤル 9:00～20:00) https://www.momat.go.jp/craft-museum/
主 催	石川県立美術館、国立工芸館、いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会、 宮内庁、文化庁、独立行政法人国立文化財機構
共 催	北國新聞社
特 別 協 力	紡ぐプロジェクト、読売新聞社、公益財団法人前田育徳会
観 覧 料	2 館共通券： 一般 1,500 (1,200) 円、大学生 1,000 (800) 円 * 高校生以下、18 歳未満、障害者手帳をご提示の方とその付添者(1 名)は無料 * () 内は前売料金・20 名以上の団体料金・割引料金。いずれも消費税込 * 前売発売は 10 月 13 日(金)まで * 65 歳以上の方は団体料金・割引料金 * いしかわ文化の日(10/15)、文化の日(11/3)は団体料金・割引料金
特 設 サ イ ト	https://ishibi-ncm2023.com/

皇居三の丸尚蔵館収蔵品展

皇室と石川 — 麗しき美の煌めき — 記念演奏会

雅楽

麗うるわしの響こき

雅楽の解説付きで、展覧会の出品作にちなんだ演目を上演します。皇室ゆかりの文化をご体感ください。

2023.11.11(土) 14時開演(13時開場)

会場 石川県立能楽堂 〒920-0935 金沢市石引4丁目18-3 TEL・FAX:076-264-2598 (受付9:00~17:00 月曜日(祝日除く)は休館日)

出演 一般社団法人 大阪楽所

【第1部】 管絃 / 双調音取、賀殿急、柳花苑

【第2部】 舞楽 / 萬歳楽、納曾利、長慶子

チケットのお求め

石川県立能楽堂/石川県立音楽堂チケットボックス/
香林坊大和プレイガイド
※石川県立能楽堂以外でのチケット販売は公演日の3日前まで。

全席自由 ※当日券同額。
※高校生以下無料。ただし、入場券が必要となります。入場券は石川県立能楽堂でお求めください。
1,500円

主催 兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会(石川県文化振興課内)
お問い合わせ TEL:076-225-1371(平日9:00~17:00)

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭
いしかわ百万石文化祭2023



令和5年度 文化庁 文化観光拠点施設を
中核とした地域における文化観光推進事業

雅楽とは？

古代のアジア諸国からシルクロードを経て日本にもたらされた音楽と、日本古来の音楽が融合した芸能です。長い年月をかけて整理され、千年以上前にほぼ現在の形になりました。「世界最古のオーケストラ」と言われています。

皇室と雅楽の歴史は古く、平安時代には宮廷芸能として浸透し、今日でも「新嘗祭」など宮中行事の際に演奏されています。今回は「皇居三の丸尚蔵館 収蔵品展」の開催を記念し、楽器のみを演奏する「管絃」、伴奏に合わせて舞人が舞う「舞楽」を上演します。

演目

【管絃】「双調音取」

双調は、洋楽でいう「ソ」の音を中心とする調子。音取は、これから演奏する調子の雰囲気や場を満たすための短い曲で、楽器をチューニングする役割もある。

【舞楽】「萬歳楽」

天皇即位の礼で「太平楽」とともに必ず舞われる、おめでたい曲。一説では鳳凰の声を曲に、その姿を舞にしたと言われる。なお、皇居三の丸尚蔵館収蔵品展では《萬歳楽置物》(初代徳田八十吉ほか)を国立工芸館で通期展示。

「賀殿急」

遣唐使が伝えた琵琶の譜がルーツ。新築祝いにふさわしい演目とされる。

「納曽利」

雌雄二匹の龍が楽しげに遊ぶ姿を模した舞。銀の目玉と牙がついた面は、迫力満点。

「柳花苑」

仙人が花を手折って詩を詠んだ時にこの曲を奏したと伝わる。明るく優美な旋律が特徴。

「長慶子」

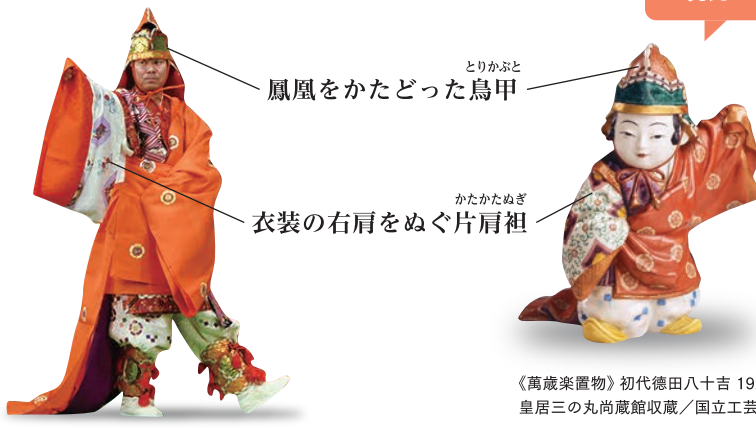
行事の最後に演奏される退出の音楽で、現在も舞楽の終わりに演奏される。

〈出演〉一般社団法人 大阪楽所

雅楽の正しい伝承と発展を目指し、1982(昭和57)年に結成した。宮内庁式部職楽部楽師の指導のもと、高度な演奏技術の習得を図り、雅楽の芸術性を追及し、年1回の定期演奏会をはじめ、社寺や企業、学校等で演奏活動を行っている。



ここに注目！色彩豊かな装束



鳳凰をかたどった鳥甲

衣装の右肩をめぐり片肩袒

展示会の出品作品と見比べるのも楽しい

《萬歳楽置物》初代徳田八十吉 1928年
皇居三の丸尚蔵館収蔵／国立工芸館で通期展示

※「萬歳楽」は中国大陸にルーツを持つ「左舞」の一つで、赤系の装束を着用します。対して、朝鮮半島伝来の「右舞」である「納曽利」は緑系の装束をまといます。



〈舞楽のイメージ〉

|| 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗しき美の煌めき-

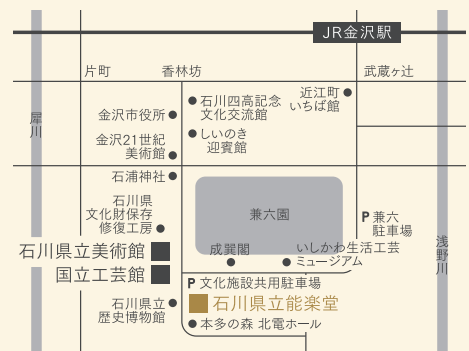
[第1会場] 石川県立美術館 [第2会場] 国立工芸館
会期:10月14日(土)~11月26日(日) 休館日:11月6日(月)
開館時間:午前9時30分~午後6時(入館は閉館30分前まで)

観覧料:一般 1,500円(1,200円)、大学生 1,000円(800円)
※2館共通券 ※()内は20名以上の団体料金・割引料金 ※いずれも消費税込
※無料対象:高校生以下、18歳未満、障害者手帳をお持ちの方と付添者(1名)
※65歳以上の方は団体料金・割引料金 ※いしかわ文化の日(10/15)、文化の日(11/3)は団体料金・割引料金
※オンラインによる事前販売もあり

※石川県立美術館駐車場または近隣の文化施設共用駐車場(いずれも無料)をご利用できます

お問い合わせ: 石川県立美術館 076-231-7580
国立工芸館 050-5541-8600[ハローダイヤル](9:00~20:00)

特設ウェブサイト



石川県立能楽堂へのアクセス:[バス]JR金沢駅兼六園口(東口)→「出羽町」下車徒歩3分
[車]北陸自動車道金沢IC/金沢森本IC→20~30分